



県特研だより

VOL.1

R8.6.24発行

◇第1回理事会（令和8年5月29日オンライン開催）

今年度の運営についての協議と研究部会の報告を行いました。

令和8年度 秋田県特別支援学校教育研究会役員

- 会長** 佐藤 香代子（能代支援学校長）
- 副会長** 熊谷 司（大曲支援学校長）
伊藤 潤（視覚支援学校長）
菊地 真理（聴覚支援学校長）
高田屋 陽子（秋田きらり支援学校長）
- 事務局** 高橋 沙織（能代支援学校 教諭）

研究部会「教育課程編成部会」（研究主任 情報交換会）

令和8年度 研究テーマ
「自立活動の充実を図る2～自立活動に係る個別の指導計画と実践の往還を通して～」

各校における自立活動に係る課題の検討と実践を通して、自立活動の充実を図るための提案を行うことをねらいとして進めていきます。



グループ協議の報告（一部抜粋）

※欠席：ゆり支援学校

グループ	各校の課題等	課題への提案や効果的な取組
A ・たかのす ・横手 ・附属	<ul style="list-style-type: none"> ・担任の主観による指導が多く、内容の妥当性や根拠の弱さ ・目標が単なる「活動」になり、どの内容を達成するためのものが不明確 ・自立活動の目標設定や内容の区別の理解 ・自立活動について共有する場の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・学部研究会等で自立活動の目標を共有し、指導場面や授業に反映させる仕組みの構築 ・自立活動の時間の設定
B ・聴覚 ・能代 ・天王みどり ・せんぼく	<ul style="list-style-type: none"> ・担任以外が指導する場合に、自立活動の視点を共有することの難しさ ・評価場面の設定や、高等部における自己理解の評価の難しさ ・実態の背景を捉えた優先課題の設定や、指導内容の構成の曖昧さ ・校務支援システムと校内の様式の重複による記入の負担感 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導案に自立活動の内容や実態シートの添付、明記 ・学校独自の指導内容表や、他県(長崎県など)の事例の活用 ・自立活動部主導による組織的な研修会の実施
C ・視覚 ・比内 ・栗田 ・稲川	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な取組や研修機会の不足による、担任の個人作業になりがち ・目標が抽象的なため評価しにくく、教科指導との連携も弱い ・子どもの成長を見取る難しさや、評価の妥当性への疑問 	<ul style="list-style-type: none"> ・客観性のある自立活動検討会 ・「週指導記録簿」へのエピソード記録や、本人・保護者の願いの聞き取り ・評価サイクルをシステム化し、日常的な評価の実施
D ・秋田きらり ・かづの ・大曲	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者間での情報共有や検討が不十分 ・教員の経験値による、目標設定の妥当性や実践力、具体性の差 ・自立活動実態シートの優先目標と、個別の指導計画の目標の不一致 	<ul style="list-style-type: none"> ・学部内での実態シートの回覧や検討による、複数の目で確認する機会の設定 ・エピソード記録を定期的に伝え合う機会の設定 ・各校のよい実践や取組の抽出と整理

秋田県特別支援学校教育研究会

秋田県特別支援学校教育研究会は、特別支援学校の教育課題について研究協議を行い、特別支援教育の充実・発展に寄与することを目的としています。

県内特別支援学校の教職員全員が会員です。

令和8年度公開研究会実施校

学校名	期日
比内支援学校	12月16日(水)
能代支援学校	12月18日(金)
天王みどり学園	11月27日(金)
附属特別支援学校	10月30日(金)

第2回理事会

1/29 (金)

オンライン開催

各校の指導案や「自立活動指導事例集」をHPに掲載しています。研修や授業づくりの参考として、是非、ご活用ください！



事務局：能代支援学校
〒016-0005
秋田県能代市真壁地字トトメキ沢
135番地
0185-55-0691
noshiro-s@akita-pref.ed.jp
<https://noshiroshien.ed.jp>

児童生徒の実態に応じた指導を行うために、実態把握の方法や目標設定、校内での共有、活用の在り方など、様々な意見が挙がりました。今後は、自立活動実態シートを基に、各校における効果的な取組や課題へのアプローチを、実践を通して整理し、自立活動の充実に向けた提案を行って行く予定です。